



脳卒中アプローチの“困った”を 一発で解決する講座

機能障害に対するアプローチの選択を間違えないために

上肢機能障害・運動失調 編

講座コードR-331

日 時：2026年1月11日(日) 10:00～16:00

場 所：インターネット生中継セミナー

講 師：田中 将司 先生（札幌麻生脳神経外科病院）佐藤 浩之 先生（トータルリハビリテーショントリア PT）

対 象：PT・OT・ST・看護師（左記以外でも受講可）

受講料：会員 9,800 円(税込) 一般 12,800 円(税込)

2週間見逃し
受講期間あり

今、会員になると
年会費 4,900円が無料
実質 7,900円割引

※永久保存版
PDFスライド付



「動かない」「震える」「使えない」—上肢の問題は複雑で、何から手をつければいいかわからない…

そんな臨床の“もやもや”を一気に解消しませんか？



脳卒中の患者さんを診ていて「ウーン」と思わず悩む症状って多いはず。でも、いざアプローチしてみようと思っても「ベストな方法はどれ？」と迷うことないですか？この新講座では、ベテラン講師が最新エビデンスとアセスメント結果から、個々の障害にあった“BESTアプローチ”を選択して、実践するためのポイントを徹底解説。急性期から回復期にかけての評価の視点から、痛み・可動域制限・運動失調・振戦といった多様な問題への対応法までを、課題指向型訓練や実生活に即した工夫とともに徹底解説。ADLへつなげる“意味あるアプローチ”的ヒントが満載です！

「動かないから仕方ない」はもう終わり！ “使える上肢”へ導く評価とアプローチの最前線

Lesson 1 動かない腕に、何をすればいいの？

急性期～回復期における上肢機能の見極めと対応戦略

- ・“動かない=あきらめ”ではない！回復可能性の評価ポイント
- ・FMA・ARAT・Brunnström…
どれをどう使う？予後予測とアプローチ選択のリアル

Lesson 2 痛い！挙がらない！

肩関節周囲のトラブルとその予防・対応法

- ・拘縮？亜脱臼？痛みを悪化させないポジショニングとハンドリング
- ・肩の“触り方”で変わる回復の道筋 ROM エクササイズのコツ

Lesson 3 手が使えない…でも何かしたい！

上肢機能障害に対する課題指向型訓練の実践と工夫

- ・CI療法・ミラーセラピー・電気刺激 重症度別の使い分け
- ・“やらされ感”を脱却する課題設定のコツと
実生活に結びつける“意味ある動作”的選び方

Lesson 4 動きがぎこちない…

運動失調の見極めとアプローチの基本

- ・小脳性？感覚性？前庭性？タイプを見極める評価法
- ・臨床で使える協調性トレーニングの実際～タイプ別 BEST アプローチ～
- ・知らなかつた！運動失調に“やってはいけない”動作誘導

Lesson 5 リーチができない！そのときどうするべき？

体幹・肩甲帯・上肢の運動性を引き出すアプローチ

- ・“手が出ない”のは手のせいじゃない！？
介入すべき予測的姿勢制御(APAs)
- ・骨盤・体幹・肩甲帯の評価と介入のステップ
実践！リーチ動作を引き出す 3つのポジショニング



Lesson 6 動かすと震える・ブレる…どうすればいい？

企図振戦・測定障害への対応と代償戦略

- ・運動失調のトレーニングは“ゆっくり動かせばいい”は本当か？
有用なアプローチとその根拠
- ・装具・視覚フィードバック・環境調整の活用法と
教科書にない実践のコツ
- ・ベテランの技！振戦が強い人に“あえて”行ってもらう課題



Lesson 7 ADLが上がらない！

生活動作に結びつける上肢アプローチの工夫

- ・食事・更衣・整容…“片手でできる”を増やす工夫
- ・代償か？回復か？

臨床での判断基準とチームで共有したい

“上肢の使い方”的視点

ほか



全3講座
シリーズ
受講もできます

2月15日(日)
感覚障害/
高次脳機能障害 編

3月8日(日)
嚥下障害/
脳卒中疲労/排泄障害 編

クーポン
3回まとめて
申し込むと
3,000円分
プレゼント！

※この講座は離床アドバイザー取得コースの
理論1単位学会認定資格更新10ポイントを
取得することができます

受講方法

ホームページよりオンライン登録

日本離床学会

検索

お問い合わせ・お申込先

臨床を元気に！

日本離床学会

